

大阪工業大学

入学準備学習プログラム

学科長からのメッセージ

合格おめでとうございます！

でも、新しい大学生活に向けて不安もあるでしょう。両親から離れて一人暮らしを始める方もいるでしょう。大学生活は、いずれ社会へ出て自立するための準備、そして訓練の期間でもあります。でも心配無用です。生命工学科は皆さんをしっかりとサポートします。特に1年生の前半は、8人程度のグループに別れ、担任教員が受け持つ小人数授業があります。グループ毎のオリエンテーションや、自由研究活動を通じて、気の合う友達を見つけたり、勉強の相談をしたりできるでしょう。

大学でやりたいことを考えましたか？ もちろん勉強は大事ですが、それ以外のこと、クラブやサークル活動、友達との遊びなども実は大事です。大学時代は、一生を左右するといつてよいほど、自分が大きく育つ大切なときです。希望をもって充実した大学生活を送って欲しいと思います。

大阪工業大学工学部生命工学科には、生物・食品・医学・工学分野の様々な分野を専門とする教員がいます。2年生から3年前半までの1年半をかけて、全ての研究室で実験・実習を行います。そこでは、研究室の設備を利用し、大学院生に手伝ってもらいながら、各研究室が用意したテーマで実験・実習を行います。その後、3年生後半からは希望する研究室に分かれて所属し、卒業研究に取り組んでいきます。ものづくりの基本から応用技術が幅広く学べる上に、生命科学についてもしっかりと学べるのがこの学科の特徴です。さらに、実験を通して、早くから少人数で問題を解決していく訓練を続けていくことで、社会に出てから大切なコミュニケーション能力や問題解決能力を身につけることができるでしょう。

生命工学はこれからますます伸びていく分野です。2012年のノーベル賞の対象となったiPS細胞も、まもなく再生医療や創薬分野で実用化されていくでしょう。皆さんが勉強・研究していくことが、広く社会で役立つ時代が到来します。また、COVID-19によるパンデミックが長く続きますが、新しい生活（ニューノーマル）を支える技術開発には生命工学科で学ぶ知識がきっと役に立つはずですよ。

4月からのご入学を、教員一同、心から待っています。



工学部生命工学科長

教授 宇戸 禎仁

Message